

テーマ『教育・文化，健全育成』
 現状把握 グループ協議結果〔Aグループ〕
 【強み】

参考資料1

No.	項目	数	付箋の記載事項
1	文化財が豊富	8	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能がある。 ・文化財がある。 ・歴史(文化財)が豊富。地域が守っている。 ・地域内の伝統行事は継続する努力をすれば出来ると思う。 ・地域で大切にしている彫刻屋台と天棚が多くある。 ・河内地区に国指定重要文化財がある。(岡本家) ・教育・文化:白沢宿の宿屋だった家が倉庫の中にあるので、資料館として再建出来たらと思う。 ・文化財が地域の人達で、きちんと守られている。
2	地域の活動がさかん	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の伝統行事継続。 ・歴史・観光探検地域の活性化につながる。 ・各地域でお祭りが盛ん。 ・各自治会で伝統行事を守り続けている。 ・各自治会での活動は、ある程度独立して行われている。 ・各地区(自治会)のイベント等が実施されている。 ・青少年育成活動が活発。 ・伝統的な行事が残っている。 ・子ども会活動が活発。
3	地域力	6	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代同居が多く、子どもだけの留守番が少ない。 ・魅力ある学校づくり協議会が活発。(地域住民) ・地域で子どもを育てるという意識が薄い。 ・学校への地域住民サポートしたいと思っている人はいると思う。 ・小学生が地域の高齢者に声かけ、あいさつをしている。 ・教育の強み:社会科等で学校周辺の寺や施設の見学に力を入れている。(小学校)
4	地域の施設に恵まれている	4	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・プール・図書館等、教育施設が整っている。 ・文化祭など発表の場所がある。 ・児童館・保育園等の施設が各地区にあること。 ・生涯学習センターを利用して、200以上のグループが活動している。
5	文化祭	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭に地域住民が沢山参加している。(約5,000人) ・河内地域文化祭。34回継続している。

テーマ『教育・文化，健全育成』
 現状把握 グループ協議結果【Aグループ】
 【弱み】

No.	項目	数	付箋の記載事項
1	教育力	6	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の教育力。 ・教員の教育力の低下。 ・小学校が6校ある。 ・子供のいない家庭では，学校に対して無関心である。 ・地域の教育力不足。 ・教育の弱み：地域での住民との関わりが少ない。
2	異世代交流	4	<ul style="list-style-type: none"> ・異世代交流が・・・？ ・他地域との交流がない。（他校の小学生同士） ・三世代交流が少ない。 ・青少年の居場所が少ない。
3	コミュニケーション	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動が殆どない。 ・教育の弱み：夏祭り等の行事に近隣住民の参加が少ない。 ・伝統行事に若い人の参加が少ない。
その他		3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の文化財等が次世代に伝えられていない。 ・地域協議会活動：地域と学校連携は出来ているが，企業とは出来ていない。 ・青少年育成のサポーターが育っていない。

その他	希望	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しんで遊べる環境の場を作る。 ・地域の歴史に関する冊子を作る。 ・下校時の安全パトロールの強化。 ・学校の行事に子どもはいなくても，参加できるようにすればよいと思う。 ・地区の文化財の認識に後継者の育成をはかる。
-----	----	---	---

テーマ『教育・文化，健全育成』
 現状把握 グループ協議結果【Bグループ】
 【強み】

No.	項目	数	付箋の記載事項
1	自然と環境に恵まれている	7	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の増加は見込める。 ・幅広い人材に恵まれている。 ・学ぶ環境に恵まれている。(生涯学習センター・図書館・運動施設・体験施設) ・安心な自然環境。 ・伝統的な地域と学校・PTA(限定する訳ではない)，協働の地域づくりになっている。 ・青少年の育成。 ・自然環境に恵まれている。
2	文化財が豊富である	3	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史に関わる文化財が多い。 ・文化財は豊富である。 ・地域の伝統や文化をうまく教育・学びの場に利用されている。
3	地域教育との連携	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園の動きなど継続性ができている。 ・都市部と農村の交流ができる。 ・学校(地区)と地域の連携が良くとれている。 ・地域に限らず，地域外との取り組みも重要である。 ・地域の取り組み非常に熱心であるが，労を伴うこともない。

テーマ『教育・文化，健全育成』
 現状把握 グループ協議結果【Bグループ】
 【弱み】

No.	項目	数	付箋の記載事項
1	災害対策と環境の悪化	4	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い河内のまちづくり。 ・子どもたちの安心・安全な暮らしへ。 ・安全な街道。 ・子どもと一緒に町づくり。
2	文化財の活用	3	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を公開する場がない。 ・伝統行事の継承の場がない。 ・文化財の管理と活用が今一つである。
3	生涯教育の強化	7	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育実施の周知がされていない。 ・生涯教育の場が少ない。 ・地域コミュニケーションの”場”の充実。 ・義務教育後の地元教育がない。 ・仲間との催しが減少してきている。(絆の弱体化) ・就業者への地域文化の教育の場がない。 ・眠れる人材の発掘と活用が出来ていない。
4	温もりのある地域づくり	11	<ul style="list-style-type: none"> ・健全なる子どものいるまちづくり。 ・親から子へ孫へと温もりのある教育と家庭へのつながり。 ・地域歴史教育の充実。 ・年代を越えた交流が少なくなっている。 ・地産地消。 ・熟年者の社会参画意識が弱い。 ・孤独死のないまちづくり。 ・高齢者に対する生徒の教育が少ない。 ・弱者への教育の強化。 ・無縁社会を根絶する地域づくり。 ・食育づくり。
5	環境が悪化	4	<ul style="list-style-type: none"> ・街並み景観づくり。 ・農業との共存。 ・快適な自然環境を享受するシステムづくり。 ・自然と触れあう機会が少ない。

テーマ『教育・文化，健全育成』
 現状把握 グループ協議結果[Cグループ]
 【強み】

No.	項目	数	付箋の記載事項
1	子供の教育環境が良い	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域につながりが出来ている。 ・育成会が作られていて実績がある。 ・健全な青少年の育成，家庭教育のあり方。 ・子供達は明るく，挨拶がよくできている。 ・地域の小中学校連絡協議会の活動が活発である。 ・学校と地域のサポートが出来ている。
2	豊かな自然環境がある	4	<ul style="list-style-type: none"> ・農業が盛んである。 ・水と緑が豊富で情操教育に優れている。 ・自然が豊か。(①鬼怒川 ②田畑 ③平地) ・地域の小中学校に農産物を提供出来る。
3	地域文化遺産が豊富	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に文化財や歴史を持っている。 ・地域内に文化財が豊かに存在している。
4	生涯学習教育の伝統がある	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・文化・健康施設は一応整っている。 ・生涯学習の取り組みに活気があり，実績がある。 ・生涯学習の促進。(年代に応じた学習) ・学校への地域住民サポート。(地域住民への安全性を強調する。)
5	スポーツが盛ん	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興の町として実績がある。(スポーツのまち河内)

テーマ『教育・文化，健全育成』
 現状把握 グループ協議結果【Cグループ】
 【弱み】

No.	項目	数	付箋の記載事項
1	文化施設の活用が弱い	10	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存育成に対する住民の意識が低いのでは？ ・地域文化財の周知が不足している。 ・地域の文化財・歴史資産に関する教育・教宣・広報が乏しい。 ・河内歴史観光巡り5選(①白沢宿, 阿久津河岸 ②岡本城跡 ③河内鬼怒川洪水三本松 ④桜堤 ⑤篠原家住宅) ・子供達への郷土愛を育成する教材が乏しい。 ・自然と歴史等, 文化遺産が統一されていない。 ・子供が遊べる川・林・公園の整備が乏しい。 ・めざせ河内健康の里(1)ジョギングロード整備 2)医科大と連携した①e-learning教材の作成 ②健康づくり教室開催) ・水・人・食, 河内里山ふれあいの城(①安全・新鮮食材販売 ②歴史・観光案内 ③鬼怒川洪水展示 ④河内伝統文化伝承) ・歴史遺産有り(①白沢宿 ②篠原家住宅 ③阿久津河岸)
2	文化教育の活動のPR不足	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸活動参加・宣伝・啓蒙が弱い。 ・小中学校の活動内容が広く知られていない。 ・ふれあい交流場無→交流センターが必要。 ・公共施設・文化施設が分散しすぎている。有機的につながっていない。
3	生涯学習が弱い	4	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習事業については, 少し後退しているのでは？ ・健全な青少年の育成に年少教育の重要性も考えられる。 ・生涯学習の促進, 受け入れ行政の考え方。 ・学校への地域住民サポートは住民の意識の高揚が必要。
4	交通安全に対する教育不足(特に自転車)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化技術を導入した安心・安全のまちづくり(①食品の安全情報提示 ②放射能情報提示 ③介護情報提示 ④避難情報提示) ・通学路の交通安全が求められる。 ・交通網が不十分→公共バス運行を。
5	地域産業情報不活発	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業が住んでいる人達に良く知られていない。 ・学校給食と農業体験により偏食が出ている。 ・生産農家と学校給食を連携して食育向上が図れる。
6	介護施設不足	2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設等の公共の場に環境音楽を流すことで, 人々にやすらぎの場を提供。 ・ふれあいベンチの設置事業→道路の明きスペースにシルバー人材センターでつくったベンチを多数設置し, 絆づくりに活用。
7	健康づくり情報不足	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を取り込んだ健康づくりコースが乏しい。 ・健康情報が不足。

テーマ『教育・文化，健全育成』

参考資料2

課題抽出 グループ協議結果[Aグループ]

順位	項目	数	付箋の記載事項
1	文化財の充実	9	<ul style="list-style-type: none"> ▪文化財案内マップ作り, PR作戦 ▪地域で出来る事, 山車の見学会 ▪文化財を見せる機会を増やす ▪地域で出来る事, 文化財の活用, お祭りの活性化 ▪各地域の文化財を知る ▪文化財の所在をもっともっとPRする ▪豊富な文化財の見学の際の説明ボランティアの育成 ▪文化財の活用, 展示場が必要 ▪地域内に「文化財解説ボランティア」がいるので, 活用してほしい
2	地域の交流	12	<ul style="list-style-type: none"> ▪温もりのある地域イベントに隣人に声かけ参加する ▪異世代交流のイベントの活用 ▪地域のまつり, 行事の日程表を月毎に表示・発表する(広報紙を通して) ▪協働で取組む事, 企業・自治会・育成会でのイベント作り ▪地域に新たに楽しいイベントを考える ▪自治会内の行事に参加し, 住民同志の交流を密にする ▪大人から子どもが参加できる地域のイベント立案, 実施 ▪自治会同志が交流の場をつくる ▪隣の人と声をかけ合う ▪地元小学校行事やイベントに積極的に参加する ▪学校のイベントに地域住民の参加 ▪地域活動, 三世代の交流, 親から子への伝え
3	青少年の育成	4	<ul style="list-style-type: none"> ▪育成団体行事を活発にする ▪子ども会行事その他イベントをもっとPRする ▪以前のような子ども会活動(地域全体での)の復活 ▪学校, 地域, 家庭の教育力の強化
4	施設の活用	8	<ul style="list-style-type: none"> ▪歴史館を創ってほしい ▪民俗資料等を展示する場所を設ける ▪行政に望むこと, 生涯学習の活性化, 項目をもっと多く ▪だれでも学べる生涯学習の推進 ▪地域の施設を有効な使い方を(例:コミュニティ等) ▪体育館, コミュニティ等をもっと解放的なものにしていく ▪小中学校が地域の大人を対象に, 開校講座をひらく ▪行政に望むこと, 施設の開放, 地域に利用させる

テーマ『教育・文化，健全育成』

課題抽出 グループ協議結果[Bグループ]

順位	項目	数	付箋の記載事項
1	学ぶ楽しさの実現	15	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 体育の奨励 ▪ 成人，熟年教育の強化，徳育，情操の強化 ▪ 地産地消の推進 ▪ 子どもへの見守りは，高齢者への見守りと同じ ▪ 小中校生との学びの場を作る ▪ 生涯学習の積極的参加の呼びかけ ▪ 里山資源の再発見を子どもたちと ▪ 教育，農業のつながりの発見プログラム ▪ PTA活動の活性化 ▪ 学童教育に要する仕組みづくり ▪ 多世代の共同学習の場 ▪ ワークショップで地域の達人を見つける ▪ 地域文化の学校への浸透 ▪ 日曜学校等の場を作る ▪ 学食の過保護からの脱皮へ
2	計画的な開発と学び	10	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 土地利用の計画的展開 ▪ 緑と田園の維持，保全 ▪ 学童の体験学習強化 ▪ 開発による自然，文化の破壊を防ぐ ▪ 自然とのつながり，地域の良さをアピールする ▪ 自然との遊びを教える ▪ 自然保護への関心を高める運動推進 ▪ 水資源の大切さを学ぶ運動 ▪ アウトドアの活性化推進へ ▪ 地域特性にあった重点開発，芸術，田園，里山，湖，沼，川
3	文化財の展示と活用	10	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 文化財，文化の伝承 ▪ 保存と展示，伝承 ▪ 伝承と観光化の推進 ▪ 文化財見学ツアー ▪ 文化財の展示場 ▪ 観光として見せられるようにする ▪ 皆が活用出来る仕組みを作る ▪ 文化財のリストなど資料を作る ▪ 文化財の教育時間を作る ▪ 小さな地域の貴重な文化財を学び合う
4	地域力の強化	7	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域イベントの活性化 ▪ 地域の祭事や行事の復活と支援 ▪ リーダーの力を活かす，地域での学び続けている人がたくさんいる ▪ 地域，自治会の再構築 ▪ 地域の交流 ▪ 協同作業の展開，巡回，見守り，清掃 ▪ 災害対策マップの作成
その他		1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 行政との連携を密にする，協働

テーマ『教育・文化、健全育成』
 課題抽出 グループ協議結果〔Cグループ〕

順位	項目	数	付箋の記載事項
1	地域文化の保護活用	7	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 郷土愛醸成の為の資料の再編集 ▪ 郷土の文化と歴史を学ぶ教育の充実→郷土を愛する心を養う(対象全世代) ▪ 地域文化資産に関して, ①調査, 発掘②広報③教育への活用 ▪ 自然, 歴史, 文化財の再編成 ▪ 文化財の保存保護活動に強力に取組む(子供達に伝える努力が必要です) ▪ 公共施設の再構築(有機的, 統合化) ▪ 教育の情報化を推進する資金支援を行政に期待
2	自然を活かした教育	6	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自然と環境に恵まれている ▪ この地域の子供達は豊かな暖かい心を持っています。地域の皆様と家庭がリンクした教育を ▪ 健全な青少年育成の為の地域の連携 ▪ 生涯学習の向上(子供から高齢者まで一環教育を) ▪ 自然豊かな地域の保全を地域全体で守って行く ▪ 自然環境の教育への活用, 里山, 鬼怒川に学ぶ時間をつくる, 学校, 生涯教育
3	子どもの教育環境の整備(青少年育成)	6	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域教育との連携, 地域でできること ▪ 子供の教育環境が良い ▪ 河内小学生の作文より「こんな町いいなの」具現化 ▪ 子供の遊べる施設の整備(川, 森, 公園等) ▪ スポーツの町の復興と制度化 ▪ 食育に向けた農家との連携
4	生涯教育の充実	4	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 生涯教育の充実, ①健康教育②経済教育, 悪徳商法防止③歴史, 文化教育 ▪ 地域活動が盛ん ▪ 生涯学習が弱い ▪ 生涯学習, 健康づくりへの体制づくり
その他	安全文化への取組	2	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 交通問題が多発しています。小中学生, 高齢者に自転車の主に交通教育を ▪ 災害対策と環境悪化

「合併市町村基本計画の執行状況について」の意見票

委員氏名： _____

下記の事業名ごとにご意見をご記入のうえ、5月8日（火）までに事務局へご提出願います。

※メールでこの様式の送付をご希望の方は、事務局までお申し出願います。

事業名：
<意見>

事業名：
<意見>

【事務局】 河内地域自治センター 地域経営課 総務グループ

〒329-1195 宇都宮市白沢町500

TEL：028 (671) 3200 FAX：028 (671) 3220

メールアドレス：u22500500@city.utsunomiya.tochigi.jp